

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
専門学校 岡山情報ビジネス学院	昭和61年7月26日	学院長 三村 光	〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町1-4 (電話)086-224-2336																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人 三友学園	昭和61年7月26日	理事長 野津 基弘	〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町1-4 (電話)086-224-2336																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
工業	工業専門課程	ネット・動画クリエイター学科	平成15年2月19日 文部科学省告示	—																							
学科の目的	時代に応じた技術を取り入れたWeb制作を行うことで自ら意欲的に学習に取り組む積極性を、チームでの制作を経験することでコミュニケーション能力や企画提案力を身に付ける。Web業界でクライアントの要望を的確に把握し表現できる人材を育成する。																										
認定年月日	平成28年2月19日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	1,700	542	217	1,151	0	0																				
1910時間																											
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
40人	92人	1人	2人	5人	7人																						
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～翌年3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成績評価はS、A、B、C、Dの4段階 科目終了時に試験、レポート等で評価																							
長期休み	■夏季休業日:8月9日～8月28日 ■冬季休業日:12月19日～翌年1月12日 ■春季休業日:2月6日～3月13日		卒業・進級条件	①必修の全科目及び選択必修科目で選択した科目の成績がC評価以上 ②すべての授業の出席率90%以上 ③サーティファイ Webクリエイター検定スタンダード、 サーティファイ Illustrator検定スタンダード、 サーティファイ Photoshop検定スタンダードのうち1つに合格 上記条件を全て満たした学生に対して卒業を認定する																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 電話連絡、保護者面談、家庭訪問等		課外活動	■課外活動の種類 新入生歓迎会、スポーツ大会、学園祭、東京研修 ■サークル活動: 有																							
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) 就職先:(株)TBSアクト、トータルビジョン関西(株)、OHKエンタープライズ、玉島テレビ(株)、(株)ボックス、(株)システムタイズ、萩原(株)、小松印刷(株)、(株)サンアド、(株)プレコハウス、サンコー印刷(株)、(株)マグリット等 業界:放送、映像配信、番組制作、Webデザイナー、フロントエンドエンジニア、グラフィックデザイン、ECサイト管理等		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)																							
		■就職指導内容 担任教師とキャリアサポート室が連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策等を行う。			<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Illustratorクリエイター能力認定試験エキスパート</td> <td>③</td> <td>24人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>Photoshopクリエイター能力認定試験エキスパート</td> <td>③</td> <td>24人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>文部科学省後援 色彩検定 3級</td> <td>③</td> <td>24人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>Webクリエイター能力認定試験エキスパート</td> <td>③</td> <td>24人</td> <td>14人</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	Illustratorクリエイター能力認定試験エキスパート	③	24人	13人	Photoshopクリエイター能力認定試験エキスパート	③	24人	13人	文部科学省後援 色彩検定 3級	③	24人	14人	Webクリエイター能力認定試験エキスパート	③	24人	14人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																								
Illustratorクリエイター能力認定試験エキスパート	③	24人	13人																								
Photoshopクリエイター能力認定試験エキスパート	③	24人	13人																								
文部科学省後援 色彩検定 3級	③	24人	14人																								
Webクリエイター能力認定試験エキスパート	③	24人	14人																								
		■卒業生数: 24人			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																						
		■就職希望者数: 19人																									
		■就職者数: 19人																									
		■就職率: 100.0%																									
		■卒業者に占める就職者の割合: 79.2%																									
		■その他 ・進学者数: 0人																									
		(令和3年度卒業者に関する 令和4年6月1日 時点の情報)																									
中途退学の現状	■中途退学者 7名		■中退率 9.6%																								
令和3年4月1日時点において、在学者73名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者66名(令和4年3月31日卒業生を含む)																											
■中途退学の主な理由 学業不振のため、進路変更のため																											
■中退防止・中退者支援のための取組 定期ガイダンスの実施、クラス行事・学校行事への参加、家庭との連携等																											
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 ・OIC特別奨学金制度(本校入学者を対象に実施) ・後期授業料免除制度(本校入学後、所定の条件を満たす者を対象に実施) ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL) https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/2019.pdf																										
当該学科のホームページURL	URL https://oic-ok.ac.jp/course/web/																										

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

顧客のニーズを満足するWebサイトの制作ができる技術力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、ディレクション能力を備えた実践的なWebデザイナーを育成するため、最新のWebマーケティング手法やサイト設計方法・最新デバイスの動向、映像広告に知見のある方々に教育課程編成委員を依頼し、その実情と求められるスキル等について意見や提案をいただき、カリキュラムの追加や内容更新、教材作成・授業計画等に反映させる。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

実践的なWebサイトを制作するために、コミュニケーションをとることができ、自ら学び、成長していける人材を育成するために、Web関連企業及び、岡山情報ビジネス学院関係者で構成された「教育課程編成委員会」を岡山情報ビジネス学院内に設置する。年間2回以上開催される委員会にて教育課程の編成に向けた意見・助言等を受け、カリキュラム等の改善・工夫等を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年6月1日現在

名前	所属	任期	種別
久保田 浩二	特定非営利活動法人ITC岡山 理事長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	①
山下 秀男	株式会社イケル 代表取締役	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
ムラカミ ヨシコ	アッパービレッジ有限会社 代表取締役	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
結城 和子	専門学校 岡山情報ビジネス学院 教務課長補佐	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	
石井 正人	専門学校 岡山情報ビジネス学院 ネット・動画クリエイター学科 学科長代理	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (例年の開催時期は、9月、1月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年9月22日 16:00～17:00

第2回 令和4年2月18日 16:00～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

<委員会意見より現在実施中項目>

・学生の学外活動の強化について

⇒今まで、学内だけで止まっていた学生の活動を学外に目を向けて、経験を積ませる。学生の中では自分達で集まって外部から制作の依頼を受けるなど、積極的に活動を行なっている。

<委員会意見より具体的内容検討中項目>

・学生の授業でのプレゼンテーション実施に企業の意見をフィードバックする

⇒学生のグループワークからのプレゼンテーション実施に傍聴者として企業様にもみていただく。より実践的で生の声をフィードバックし、更なる成長に繋げていきたい。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

Web上での効果的な広告媒体として、動画広告に注目が集まっている今、それらに対応すべく即戦力となる人材を育成するため、実際に動画広告を提供していただける企業を選定し、現場で施設運営として実務に就かれている方から、動画広告案件のヒアリングから制作助言、学生作品へフィードバックをいただくことができる体制をとる。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

授業科目の担当教員と連携企業の講師が事前に授業内容と目的、段階的にスキルアップできる実習課題について打ち合わせを行い、スケジュールを作成する。前期は担当教員より広告計画や映像制作スキルについて、基礎的な内容の講義と実習を行い具体的な演習を行う。後期は連携企業と複数回のヒアリング会をおこない(オンライン)、動画広告制作の進捗確認やチームで仕事を進めるうえでのアドバイス・指導・改善および最終評価をいただく。連携授業内容は、施設内で上映する星座にまつわる映像コンテンツ、会場紹介コマーシャル映像、上映前諸注意映像など、案件ごとにチームに分かれ制作を行う。制作後は、現場の方からコメントをいただき、成果確認を実施して今後の制作に活かす。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
合同制作	「人と科学の未来館サイピア」様より施設内で上映される、各種映像コンテンツの案件をいただき、学生が案件ごとにチームを編成して、ヒアリングから試案提示、実制作、プレゼンテーション、納品まで制作過程を通じて実務に近い形で学習する。成果物は、実際に施設で上映していただいた。	岡山市プラネタリウム施設 「人と科学の未来館サイピア」

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教員の資質向上や専門分野の知識向上を目的とし、学内研修・学外研修・自己啓発研修等の年間研修計画を立て、学科教員が受講する。また、研修受講後は、研修報告書の作成と他関係者に対する研修内容の共有を行う。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

主催: デジタルハリウッド大学

日程: 令和3年9月28日(火)～10月15日(金)

参加者: 石井 正人

研修名: 博報堂プロダクツ 企業ゼミ「デジタルプロモーション」

主催のデジタルハリウッド大学は、我が校と教育提携しており、デジタルコンテンツを複合的に学ぶことができる教育機関である。セミナーの内容は、COVID-19によって急速にデジタルトランスフォーメーションが進む今この世の中に対して「世の中を動かす」を生業とする広告・プロモーション業界は、どうデジタルを駆使しているのか。業界の最前線で活躍するプロが集結し、7つの専門領域ごとに講義を展開。業界最先端の極意をインプットするのセミナーである。

② 指導力の修得・向上のための研修等

主催: 岡山県中小企業家同友会

日程: 令和4年3月24日(木)

参加者: 石井 正人、鈴置 勝信

研修名: 3月例会 株式会社ヤマシタ 斉藤氏講演

岡山県中小企業家同友会に参加されている企業様の主に幹部以上の方が参加し、社員教育や働きやすい環境の構築について話し合いを行う。今後の学生指導に役立てるための研修である。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

主催: 岡山WEBクリエイターズ

日程: 未定

参加者: 石井 正人、鈴置 勝信

研修名: 岡山WEBクリエイターズ

主催の岡山WEBクリエイターズは岡山県のWeb業界の企業や働かれている方々のセミナーで、本校では実習先や就職先として連携している。セミナーの内容は、Web業界の今後の未来や動向についての講演で、今後の業界の動向や問題点を修得することができた。知識や技術に触れることの楽しさややりがいを体感し、新しい知識や技術を身に付けるのが目的のセミナーである。

② 指導力の修得・向上のための研修等

主催: 株式会社 進研アド

日程: 令和4年6月下旬～8月予定

参加者: 石井 正人、鈴置 勝信

研修名: 「基礎力リサーチ」フィードバック教師研修

株式会社 進研アドは、入学者に対して、入学時及び進級時に学びの定着化を図ったり、退学予防に役立てたりすることを目的とした「基礎力リサーチ」を提供していただき、本校と連携をしている。株式会社 進研アドが、「基礎力リサーチ」結果をもとにさまざまな角度から分析した結果を各学科の担任にフィードバックを行い、今後の学生指導に役立てるための研修である。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己評価の評価結果について、学校関係者として卒業生、保護者とともに企業等による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高める。また、本校の教育方針である「即戦力となる人材育成」「ビジネスマンにふさわしい人格形成」「ニーズに対応したカリキュラム」に基づき、地域社会に貢献できる人材の育成に結び付けるために、関係者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることを目的とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受け入れ募集	学生の受け入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の順守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	現在はありませぬ

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

担任制、卒業生の社内での評価などは、良い評価をいただいたので、今後も退学防止などの課題に取り組んでいく。特に、教師の力量による差が、退学、就職などすべてに影響するため、その差を解消できるように教員研修を継続する。また、非常勤教師の採用も行い、学生サービスの充実を図る。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年6月1日現在

名前	所属	任期	種別
守井 照久	税理士法人創明コンサルティング・ブレイン 代表社員	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日 (2年)	企業等 委員
早崎 律貴	スマートスケープ株式会社 VX事業部 開発部 部長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日 (2年)	卒業生・ 企業等委員
石崎 公生	株式会社アドボックスフォトグラフィ 代表取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日 (2年)	PTA
山本 涉	医療法人和香会 倉敷スイートホスピタル 運営企画室室長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日 (2年)	企業等 委員
豊田 東	岡山国際ホテル 総支配人	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日 (2年)	企業等 委員
佐藤 新之助	株式会社イトン イートンちどり保育園 取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日 (2年)	企業等 委員
真鍋 洋志	菅公学生服株式会社 総務戦略本部 本部長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日 (2年)	企業等 委員
山下 秀男	株式会社イケル 代表取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日 (2年)	企業等 委員
北牧 涼輔	株式会社アールアールジェイ 岡山支店 支店長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日 (2年)	企業等 委員
竹井 一雄	自衛隊香川地方協力本部 東讃地区隊長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日 (2年)	企業等 委員
畑 嘉昭	株式会社 トスコ 常務取締役	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日 (2年)	企業等 委員
芳原 慶真	コーセーエンジニアリング株式会社 総務課長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日 (2年)	企業等 委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<https://www.oic-ok.ac.jp>

公表時期: 令和4年10月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針やキャリア教育、職業教育をはじめとした教育活動等の状況を提供する。また、それぞれの学科の目標検定や就職実績についても情報を提供し、公的な認可を受けた教育機関として誠実な対応を行い、説明責任を果たす。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	OICの教育方針、心の推進プロジェクト、プライバシーポリシー(個人情報保護法)
(2) 各学科等の教育	目指す業界・職種、目指す資格と資格取得実績、就職実績、カリキュラム
(3) 教職員	教職員数、教員の組織、教員の専門性、教職員の研修
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職支援等への取り組み支援、企業等との連携による取組・キャリア教育への取組
(5) 様々な教育活動・教育環境	教育活動・校舎、施設紹介、学校行事、課外活動
(6) 学生の生活支援	学生支援への取組状況(スクールカウンセラー)
(7) 学生納付金・修学支援	学納金、独自の奨学金制度・学費支援制度
(8) 学校の財務	財務状況
(9) 学校評価	学校評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL:<https://www.oic-ok.ac.jp>

授業科目との概要

(工業専門課程 ネット・動画クリエイター学科) 令和4年度 1年生															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講 義	演 習	実 験・ 実習・ 実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		ビジネス実務 I	就職活動や社会人になるうえで必要になるマナー、一般常識の習得(就職対策含む)	1通	139	4	○			○		○		
2	○		ペン字	硬筆検定3級合格レベルの演習、手書き履歴書作成のため。	1後	15	1	△		○	○			○	
3	○		Illustrator演習基礎	デザインに必要な技術やアプリケーション知識を習得。(Illustratorクリエイター能力認定試験 スタンダード)	1前	33	2		△	○	○			○	
4	○		Illustrator演習応用	デザインに必要な技術やアプリケーション知識習得、また応用分野への活用。(Illustratorクリエイター能力認定試験 エキスパート)	1後	22	1		△	○	○			○	
5	○		Photoshop演習基礎	デザインに必要な技術やアプリケーション知識を習得。(Photoshopクリエイター能力認定試験 スタンダード)	1前	62	4		△	○	○			○	
6	○		Photoshop演習応用	デザインに必要な技術やアプリケーション知識習得、また応用分野への活用。(Photoshopクリエイター能力認定試験 エキスパート)	1後	27	1		△	○	○			○	
7	○		色彩概論 I	デザインにおける色彩の知識を学び、演習を行う。(色彩検定3級)	1前	48	3	○			○			○	
8	○		Webマーケティング実習	マーケティング手法の基本知識を学び、演習を行う。	1後	33	2	△		○	○			○	
9	○		カメラ実習	写真の撮影から加工の技術・知識を習得。Webサイトにおける商品写真の撮り方など。	1前	36	2		△	○	○			○	
10	○		マルチメディアリテラシー	インターネットの必須常識、知識の習得。(マルチメディア検定ベーシック)	1前	27	1	○			○			○	
11	○		HTML・CSS演習 I	マークアップの基本を習得。(Webクリエイター能力認定試験：スタンダード)	1前	52	3		△	○	○			○	
12	○		Webアクセシビリティ I	Webアクセシビリティの基本的な考え方を学び機械も人間もアクセスしやすいサイトを制作するための知識を習得する。	1通	26	1	○			○			○	○
13	○		Webデザイン実習基礎	Webデザイン制作の基礎を学びお客様の想いをカタチにできるよう学習していく。	1通	49	3	△		○	○			○	
14	○		HTML・CSS演習 II	マークアップの基本を習得。(Webクリエイター能力認定試験：エキスパート)	1後	52	3		△	○	○			○	
15	○		動画制作実習基礎	動画の制作実習を通して自身の表現手段を増やす。(文字、イラスト、写真 + 実写動画、3DCG動画)	1後	45	3		△	○	○			○	

授業科目との概要

(工業専門課程 ネット・動画クリエイター学科) 令和4年度 1年生															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
16	○		HTML制作演習 I	HTMLを使用しての構造的なコーディング、CSSでの装飾だけでなく、動的なWebサイト制作の実装を目的とする。	1後	28	1		△	○	○			○	
17	○		グラフィックデザイン I	地図、サイン、グラフなど、さまざまな媒体のデザインを学ぶ。	1後	24	1		△	○	○			○	
18	○		合同制作 I	企業と連携し、学科内の学年の枠を越えて、制作とプレゼンテーションを行う。	1後	30	1			○	○			○	
19	○		キャリア実習	就職活動を控え、実社会での経験を積むことで就業イメージの形成を図る。また、学習内容の実践的活用を行う。	1後	80	2			○	○			○	
合計					19科目	828時間(39 単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

授業科目等の概要

(工業専門課程 ネット・動画クリエイター学科) 令和4年度 2年生															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		ビジネス実務Ⅱ	社会人としてすぐに働くことを想定したマナー・考え方・一般常識	2通	134	4	○			○		○		
2	○		ビジネスアプリケーション	企業で利用されているビジネスアプリケーション、Excelの知識・技能を習得する。	2前	35	2		△	○	○		○		
3	○		CMS演習	PHPを使用したWordPressを中心にCMSを作成、テンプレートを使用するの作成を行えるスキルを身につける。	2後	30	2	△		○	○		○		
4	○		動画制作実習応用	現代のWeb広告で欠かすことのできない動画広告について、実際の撮影技術実習を通じて、その仕組みを学ぶ。	2前	105	3			○	○		○		
5	○		企画プレゼンテーション	グループワーク形式で全員で一つの紙面制作を行い、グループワークの難しさやスケジュール管理の方法を学ぶ。	2後	30	2	△		○	○		○		
6	○		グラフィックデザインⅡ	企業ロゴを制作し、名刺・封筒・チラシ制作の実習を通じて、グラフィックソフトに慣れ、郵便規約を学ぶ。	2前	34	2		△	○	○		○		
7	○		Webアクセシビリティ	Webアクセシビリティの基本的な考え方を学び機械も人間もアクセスしやすいサイトを制作するための知識を習得する。	2前	30	2	○		△	○		○		
8	○		HTML制作演習Ⅱ	HTMLを使用した構造的なコーディング、CSSでの装飾だけでなく、動的なWebサイト制作の実装とレスポンス対応の習得。	2前	34	2	△		○	○		○		
9	○		Webデザイン実習応用	UI設計からビジュアルデザイン、構築までを行う実制作を繰り返し、総合的なサイト制作の力を身につける。	2通	78	4			○	○		○		
10	○		Webマーケティング	マーケティング手法の基本知識を学び、ネットマーケティング検定の取得を目指す。	2通	63	4	○		△	○		○		
11	○		Webディレクション	Webサイトを制作する際に、制作スタッフをまとめプロジェクト全体の進行管理・品質管理をするための技法を学ぶ。	2前	52	3		○	△	○		○		
12	○		合同制作Ⅱ	企業と連携し、学科内の学年の枠を越えて、制作とプレゼンテーションを行う。	2後	30	1			○	○		○	○	
13	○		エディトリアルデザイン	クラス誌制作。カメラの授業で撮影した写真も使用し、学生に企画編集の体験をさせる。	2後	58	3			○	○		○		
14	○		卒業研究Ⅰ	2年間の集大成として、実社会で使われることを想定した制作物の企画立案を行う。情報収集・分析・企画と実務に近い形で制作進行体験することで、社会に出る準備を行う。	2後	45	1	△		○	○		○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 ネット・動画クリエイター学科) 令和4年度 2年生															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
15	○		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅰで制作したものを掘り下げ、最終成果物としての昇華を目指す。また、併せて外部への発表も行い、研究を通じて社会へ働きかける。	2後	52	1	△	○	○	○				
16	○		情報整理学	情報を整理する、視覚化することで、新たな発想を生み出すための手法について学ぶ。アイデアの導き方、発想のまとめ方についてマインドマップなどのツールを使用して、演習を交えておこなう。	2前	32	2	△	○	○	○				
17	○		親学	親としてすべきことを学び、さらに人としての成長を目指し、人間力を高めるライフデザインについて学ぶ。	2後	15	1	○		○	○				
18		○	医療事務	医療機関の役割を理解し、簡単な保険請求を学ぶ	2後	15	1	△	○		○	○			
19		○	ビジネス実務法務	ビジネスに関連する法律の学習を通じて、社会の仕組みや業務におけるリスクを学ぶ	2後	15	1	○			○	○			
20		○	デザイン入門	書類やスライドなど、どの業界に出ても必要となるデータ作成上で必要となるデザインについての基礎的知識を身につけ、実践する	2後	15	1	△	○		○	○			
21		○	HP動画	HPや動画を制作するための基礎的な知識やセンスを身につける。	2後	15	1	△	○		○	○			
22		○	音楽	日本に伝わる四季折々の歌や世界に広がる歌を歌いながら楽器や身体、絵に描く等、表現力を高め感性を豊かにする。	2後	15	1	△	○		○		○		
23		○	RPA実習	作業自動化ツールであるRPA(Robot Process Automation)の構築を題材に、プログラムの思考力を養う	2後	15	1	△	○		○	○			
24		○	Excel・データ分析	Excelを使ったデータの活用、集計、分析方法の基礎知識について学ぶ	2後	15	1	△	○		○	○			
25		○	一般知能	数的推理・判断推理・資料解釈を論理的な思考から、解答する力を答練を通じて身につける	2後	15	1	○			○	○			
26		○	健康管理	人体の仕組みと代表的な病気の予防について理解し、健康管理の基礎を学ぶ。	2後	15	1	○			○	○			
27		○	ロジカルシンキング	グループワークやディスカッションを通じて、論理的思考に用いられるフレームワーク(考え方)を学ぶ。	2後	15	1	△	○		○	○			
30		○	ビジネス英語	ビジネスの場で簡単な英語が話せる力や、メール文章を書く能力を身につける。	2後	15	1	○	△		○		○		
31		○	ペン字上級	1年生で学んだ美しい文字を書くことの大切さをより深く理解する。ひらがな、カタカナの成り立ち、漢字基本点画、部首、筆順の解説により、バランスのとれた字形(行書体も含む)を学ぶ。また、筆ペンの使用も学ぶ。	2後	15	1	△	○		○		○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 ネット・動画クリエイター学科) 令和4年度 2年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
28	○		応用文章技能	文章を書くための素材を集めるポイントや文章の構成などを講義するとともに、毎回、テーマに即した文章を書くこと(添削あり)を通じて、実践的な文章技能の習得を目指す。	2後	15	1	○			○				
29	○		フラワーアレンジメント	ブーケ、ブートニア、ヘッドフラワー、会場装花を製作する。	2後	15	1	△	○		○			○	
30	○		世界事情	グローバル化の時代、将来国内外問わず、外国人とともに仕事することを念頭に、テーマ別国際事情の講義とグループワークやディスカッションを通して、国際的視野を身につける。	2後	15	1		○		○			○	
合計					18科目	872時間(40 単位)									
総科目					37科目	総時間 1700 時間									
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
①必修の全科目及び選択必修で選択した科目の成績がC評価以上 ②すべての授業の出席率90%以上 ③サーティファイ Webクリエイター検定スタンダード、 サーティファイ Illustrator検定スタンダード、 サーティファイ Photoshop検定スタンダードのうち1つに合格 上記条件を全て満たした学生に対して卒業を認定する							1学年の学期区分			2期					
							1学期の授業期間			16週					